

試行排出量取引スキーム 2010年度目標設定者の目標達成状況

- 試行排出量取引スキームにおいて2010年度の目標を設定した152者のうち、実排出ベースで、109者が目標を超過達成、43者が削減不足(部門別・業種別の状況は下表の通り)。
- 削減不足者のうち29者については、不足量の借り入れ(ポローイング)、試行排出枠や京都クレジット・国内クレジットの購入・償却を活用した結果、2010年度目標を達成した。
- その他の14者及び2010年度の超過達成率が過去のポローイング量に満たなかった2者(いずれも2010年度が目標設定最終年度)は目標未達成となった。
- 目標指標別では、総量目標設定者72者の内55者(76%)、原単位目標設定者は80者の内54者(67%)が目標を達成した。
- また、第三者検証は152者中50者(うち自主行動計画参加企業42者)が受検した。

部門	業種	全体		目標指標別				目標と実排出量の差分(万t-CO2)		
		超過達成	削減不足	総量		原単位		総量	原単位	
				超過達成	削減不足	超過達成	削減不足			
産業	鉄鋼		1		1			-363	-363	
	化学等	31	11	10	5	21	6	83	32	51
	製紙	7	1	2		5	1	71	5	67
	セメント・板硝子等	8	2	3	1	5	1	66	42	25
	電機電子	10	3	6	2	4	1	47	22	25
	自動車	1		1				165	165	0
	その他製造	22	7	16	3	6	4	21	18	3
エネ転	電気事業	2	7			2	7	-6,621		-6,621
	石油精製業	6				6		47		47
業務	商社・銀行・流通等	18	9	15	4	3	5	3	2	1
運輸	航空・貨物等	4	2	2	1	2	1	66	49	17
合計		109	43	55	17	54	26	-6,414	-29	-6,385

(参考) 自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)参加者(全て総量目標)については、2010年度に削減を行った68者中32者が超過削減(2.2万t-CO2)、36者が削減不足(2.5万t-CO2)であり、目標と実績の差分の68者合計は0.3万t-CO2削減不足。2011年9月末までに前年度までのバンキング分等の排出枠の取引を活用(取引件数41件、3.0万t-CO2)し、67者が目標を達成。

試行排出量取引スキーム 2010年度目標設定者の目標達成状況

- 実排出ベースで目標を達成した109者のうち、10者が昨年度までの排出枠BORROWING（借り入れ）分を償却（253万t-CO₂）、105者は余剰排出枠をバンキング（575万t-CO₂）。
- また、実排出ベースで削減不足であった43者のうち、5者が昨年度までのバンキング排出枠を活用（365万t-CO₂）、10者が外部クレジットを活用、21者がBORROWINGを活用（2,114万t-CO₂）。
- 削減不足者のうち上記に該当しない14者及び2010年度の超過達成分が過去のBORROWING量に満たなかった2者（いずれも2010年度が目標設定最終年度）は目標未達成となった。

達成（実排出ベース） 109者（828万t-CO₂）

余剰排出枠の活用	者	活用量 (万t-CO ₂)
他者に売却	0	0
昨年度BORROWING分償却※1	10	253
バンキング	105	575
今年度超過達成分を 全量バンキング	98	522
昨年度までのBORROWING分償 却後の余剰分をバンキング	7	53

※1: 2者はなお残る昨年度までのBORROWING分を今年度も引き
続きBORROWING（342万t-CO₂）。

2008年度から
2010年度まで
の累積

バンキング（累積）	108者	3,261万t-CO ₂
BORROWING（累積）	26者	5,081万t-CO ₂
目標未達成（累積）	16者	47万t-CO ₂

削減不足 43者（7,242万t-CO₂）

不足分の埋め合わせに活用した 排出枠・クレジット	者	活用量 (万t-CO ₂)
昨年度までのバンキング排出枠※2	5	365
他者排出枠	0	0
外部クレジット	10	4,760
BORROWING※3	21	2,114
今年度削減不足分を 全量BORROWING	15	23
外部クレジット、昨年度排出枠償 却後不足分をBORROWING	6	2,091

※2: 3者はなお余剰する昨年度までのバンキング分を今年
度も引き続きバンキング（1,969万t-CO₂）。

※3: 14者は昨年度までのBORROWING分を今年度も引き続
きBORROWING（2,625万t-CO₂）。

（参考）JVETSでは実排出ベースの目標達成者32者の余剰排出枠の内、売却（5者、0.3万t-CO₂）、バンキング（25者、1.8万t-CO₂）、取消等（7者、0.1万t-CO₂）。実排出ベースの削減不足者36者は他者排出枠の取引（35者、2.5万t-CO₂）を活用。